

日米貿易協定の最終合意に関する鹿児島県知事コメント

令和元年9月26日

本日、アメリカで日米首脳会談が開催され、日米貿易協定が最終合意に達したとの発表がなされた。

今般の内容については、農林漁業者の中には不安と懸念が残っているところである。米国との合意内容、地方の経済活動や国民生活に与える影響などについて、国は国民に情報提供と明確な説明を行うよう、今後も求めていきたい。

また、県としては、農林漁業者の不安と懸念を払拭し、農林水産物の重要品目の再生産が引き続き可能となり、農林漁業者が安心して経営を継続できるようにするため、国に対し、必要な措置をしっかりと確保することを強く求めていきたい。

本県は、和牛日本一の鹿児島黒牛やかごしま黒豚、お茶、ブリ、カンパチなど世界に誇れる素晴らしい農林水産物に恵まれている。

国際化の進展を大きなチャンスにしなければならないと考えており、生産基盤の強化を図るなど引き続き守りをしっかりと固めながら、世界に挑戦する競争力のある農林水産業の実現に向けて、更なる輸出拡大の取組を強力に進めてまいりたい。

【担当課】

かごしまの食輸出戦略室 室長 菓子野 慧 電話：099-286-3081